ひろしま医療情報ネットワーク(ＨＭネット)
事業概要について（病医院用）

一般社団法人　広島県医師会

2025.5

目次

HMネットとは 2
診療情報開示病院一覧 3
参加施設数について 4
2種類のカードについて 5
カード発行枚数の推移について 8
HMネットのコンセプト 9
県全域で使用できる共通ネットワーク
インフラの構築 10
HMネットの機能(ｺﾝﾃﾝﾂ)について 11
2種類の通信方式 12
HMネット システム構築整備のあゆみ 13
診療情報開示・参照システムについて 15
HMネット接続手順 16
診療情報参照(閲覧)手順　Vol1 17
診療情報参照(閲覧)手順　Vol2 18
診療情報のカードレス開示について 19
統合参照Viewerについて 20
ファイル開示相談システム 22
AI胸部X線画像診断支援システム 23
地域連携パス 24
オンライン電子お薬手帳 25
電子お薬手帳アプリを利用しよう 26
ひろしまお薬ネット(閲覧)の手順 27
TV会議システム 28
HMネット切断手順 29
ひろしま健康手帳 30
簡易ポータルサイトについて 31
ひろしま健康手帳ビューワについて 32
HM-Box(ファイル一時共有機能) 35
健診・検査共有システム 36
ミニマムデータ統合システム 37
参加費用・利用料について 38
導入までの流れ 39
お問い合わせ 40

ＨＭネットとは

広島県、広島県医師会が構築し運営するひろしま医療情報ネットワーク(Hiroshima Medical Network)の愛称です。

　ＨＭネットは、患者様の診療情報を地域の医療機関に開示することによって医療情報を共有し、適切で切れ目のない医療や介護を提供するための地域医療連携ネットワークです。広島県から広島県全域を網羅する医療連携ネットワークの構築について要請があり、2011年度～2013年度に交付を受けました地域医療再生基金をもとに2011年度より仕様の検討を行い、2013年６月より運用を開始しました。2014年度以降は医療介護等総合確保基金の交付を受け、参加施設の拡大や機能の拡充を行ってまいりました。

　ＨＭネットに参加した医療機関は、診療情報開示病院の診療情報を参照できます。また、ＨＭネットで稼働中のグループウェア（ファイル開示相談システム、AI胸部X線画像診断支援システム、オンラインお薬手帳、地域連携パス、など）を使用できます。

　開示病院では、緊密な連携医療機関の確保や患者紹介時の返書の記載が簡略化できるなどのメリットがあります。

診療情報開示病院一覧

最新情報はＨＭネットホームページにて
ご確認下さい。

地区	病院	カード	患者一覧	地区	病院	カード	患者一覧
広島市	安芸市民病院	開示	○	三原市	興生総合病院	ＨＭ	
	安佐医師会病院	ＨＭ	○	尾道市	尾道総合病院	開示	
	荒木脳神経外科病院	ＨＭ	○		尾道市立市民病院	ＨＭ	○
	五日市記念病院	ＨＭ	○	福山市	井上病院	ＨＭ	
	県立広島病院	-			脳神経センター大田記念病院	ＨＭ	○
	県立二葉の里病院	ＨＭ	○		中国中央病院	ＨＭ	○
	シムラ病院	ＨＭ	○		寺岡記念病院	ＨＭ	○
	土谷総合病院	ＨＭ	○		日本鋼管福山病院	ＨＭ	
	広島記念病院	ＨＭ	○		沼隈病院	ＨＭ	○
	広島共立病院	ＨＭ	○		福山医療センター	ＨＭ	○
	安佐市民病院	ＨＭ	○		福山市民病院	開示	○
	広島市民病院	ＨＭ	○	府中市	府中市民病院	ＨＭ	○
	舟入市民病院	ＨＭ	○	神石郡	神石高原町立病院	ＨＭ	○
	広島市立リハビリテーション病院	ＨＭ	○	三次市	市立三次中央病院	ＨＭ	○
	広島赤十字・原爆病院	開示			三次地区医療センター	ＨＭ	○
	広島大学病院	開示	○	庄原市	庄原赤十字病院	ＨＭ	○
	ヒロシマ平松病院	HM	○	大竹市	広島西医療センター	ＨＭ	○
	吉島病院	HM	○	東広島市	県立安芸津病院	ＨＭ	○
	原田病院	ＨＭ	○		東広島医療センター	ＨＭ	○
呉市	中国労災病院	ＨＭ	○	廿日市市	広島総合病院	ＨＭ	○
	呉共済病院	ＨＭ	○	安芸高田市	吉田総合病院	ＨＭ	○
	呉医療センター	ＨＭ	○	安芸郡府中町	マツダ病院	ＨＭ	○
	呉市医師会病院	ＨＭ	○				

参加施設数について

2025年5月末

医科	開示病院	45
	開示病院以外	422
	開示病院以外(県外)	3
歯科		8
薬局		234
在宅施設等		417
総計		1126施設

参加施設はＨＭネットホームページ（参加施設検索）でご確認下さい。

https://www.hm-net.or.jp/hospital/search/index.php

ぽぽじろー

2種類のカードについて

HMネットは患者さんにカード（診療情報開示カード、ＨＭカード）を提供して運用を行っている。
患者さんはカードをご自身の診療情報やお薬情報などを見てもらいたい医療機関に提示することにより情報閲覧が可能となる。

<u>開示カードについて</u>

　診療情報開示・参照システムに特化したカードである。ＨＭネットは、運用開始時、診療情報開示・参照システムのみを運用していたため、本カードのみで運用していた。

　開示カードを取り扱っている診療情報を開示する病院で発行しており、患者さんは開示病院で受けた診療情報をかかりつけ医に参照してほしいときに、対象開示病院で発行された開示カードを提示する。

広島　太郎さんが、広島赤十字・原爆病院、広島大学病院、広島市民病院に通院していた場合、それぞれの病院で診療情報開示カードの発行に同意をし、カードを受け取る。
広島　太郎さんが、Ｋクリニックを受診した時に見てほしい病院の診療情報開示カードを提示することにより対象病院の情報のみ見てもらえる。

【利用可能機能】
診療情報開示・参照システム

2種類のカードについて

ＨＭカードについて

　HMネットに参加している複数の医療機関の診療情報を結びつけるための地域共通ＩＤ番号をQRコードに格納したカードである。現在は、主にＨＭカードを取り扱っている開示病院、薬局等で発行しており、行く先々のHMカードを取り扱っている開示病院や薬局で名寄せを申請する（QRコードを読み取る）ことで、診療情報の連結が進む。

Ａ開示病院

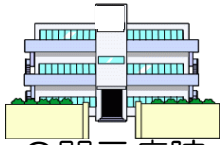
地域共通ID(34012345678)		
施設名	施設コード	患者ID
Ａ開示病院	02,2205,7	0000897

広島　太郎さんはＡ開示病院で、ＨＭカードの発行に同意し、HMカードを受け取る.
A開示病院の診療情報が他施設から参照可能になる。

Ｂ薬局

地域共通ID(34012345678)		
施設名	施設コード	患者ID
Ａ開示病院	02,2205,7	0000897
Ｂ薬局	01,4501,3	0097851

広島　太郎さんはB薬局にＨＭカードを提示する。B薬局はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。
A開示病院の診療情報、B薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。



Ｃ開示病院

地域共通ID(34012345678)		
施設名	施設コード	患者ID
Ａ開示病院	02,2205,7	0000897
Ｂ薬局	01,4501,3	0097851
Ｃ開示病院	01,1013,8	8956789

広島　太郎さんはＣ開示病院にＨＭカードを提示する。Ｃ開示病院はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。
A、C開示病院の診療情報、B薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。

Ｄ薬局

地域共通ID(34012345678)		
施設名	施設コード	患者ID
Ａ開示病院	02,2205,7	0000897
Ｂ薬局	01,4501,3	0097851
Ｃ開示病院	01,1013,8	8956789
Ｄ薬局	43,4018,0	0256987

広島　太郎さんはD薬局にＨＭカードを提示する。D薬局はHMカードの読み込みを行う（名寄せ）。
A、C開示病院の診療情報、B、D薬局のお薬情報が他施設から参照可能になる。

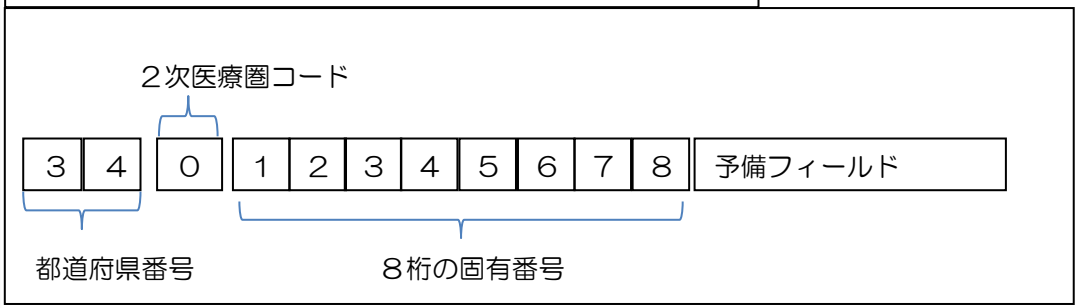
2種類のカードについて

HMネットでは、広島県内で唯一の共通IDを発行し、共通IDに対して名寄せを行うことによって医療機関間の紐付けを行う。HMカードのQR自体には地域共通IDのみ格納されており、個人認証として使用し、サーバーに蓄積されている診療情報や処方・調剤情報などを参照する。

地域共通IDを使い、医療情報を連結することにより、災害や救急時に迅速な対応を行えるように備える。

また、地域共通IDは国で進めている医療等共通IDの対応として、地域共通IDの中に予備フィールドを設けている。

HMカード（地域共通IDの構成）

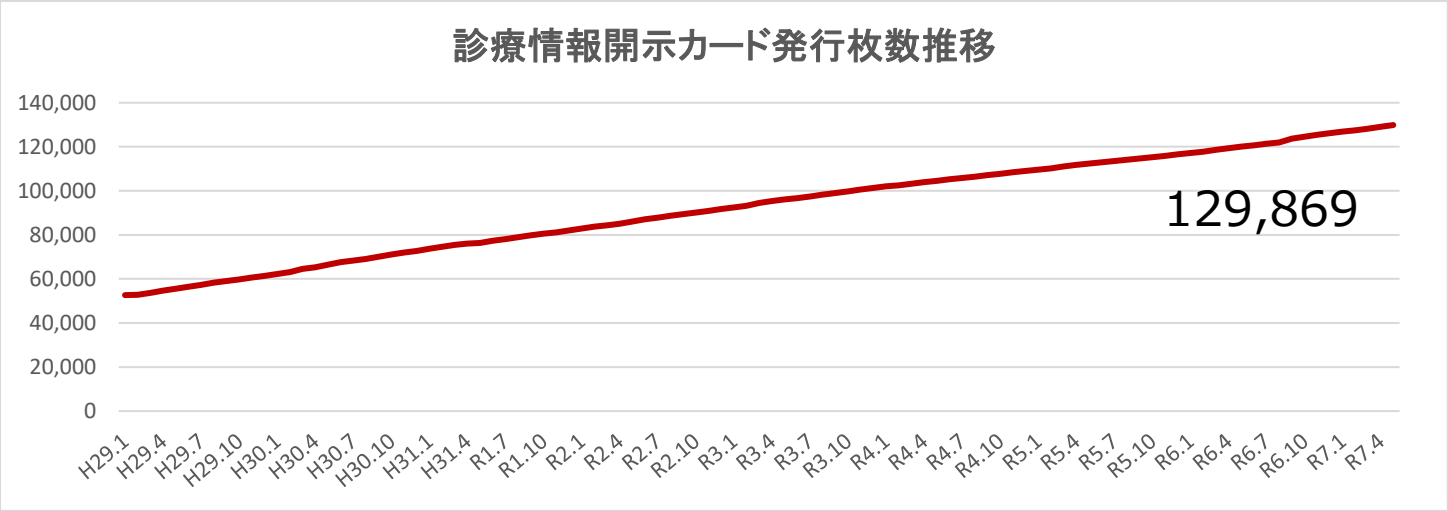


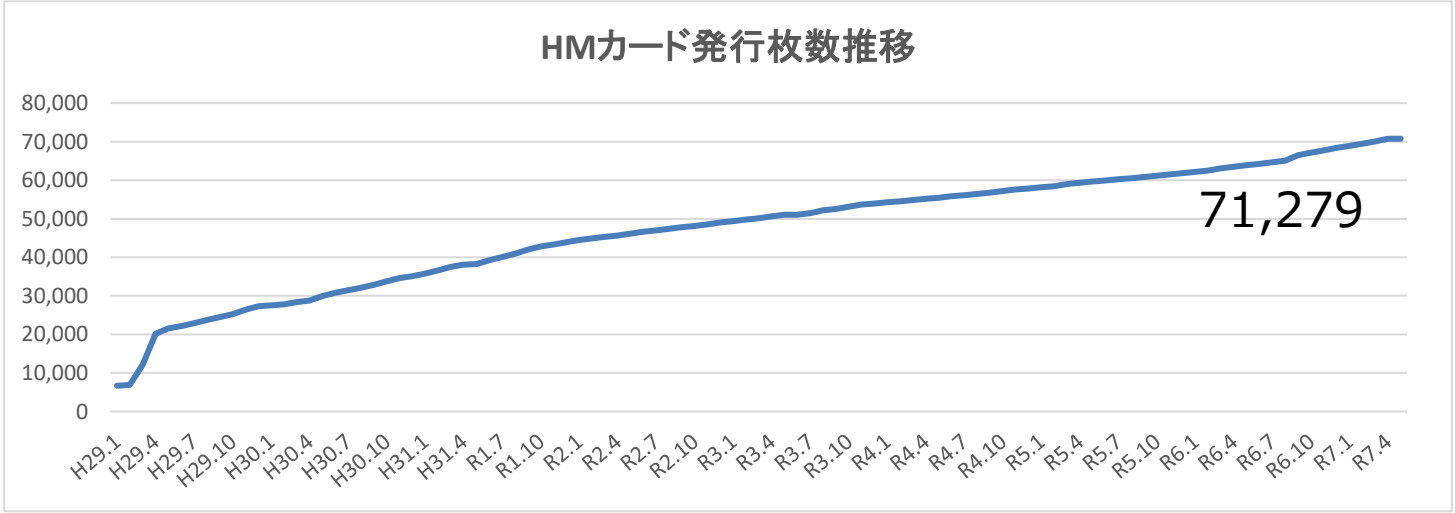
【利用可能機能】
診療情報開示・参照システム、地域連携パスシステム、電子お薬手帳システム、健診・検査共有システム、ひろしま健康手帳など

診療情報開示病院において、現在、診療情報開示カードを発行し運用している病院とHMカードを発行し運用している病院がある。開示病院の意見を考慮しながら、HMカードへの変更を推進し、HMカードに集約していきたい。

カード発行枚数の推移について

2025年5月末

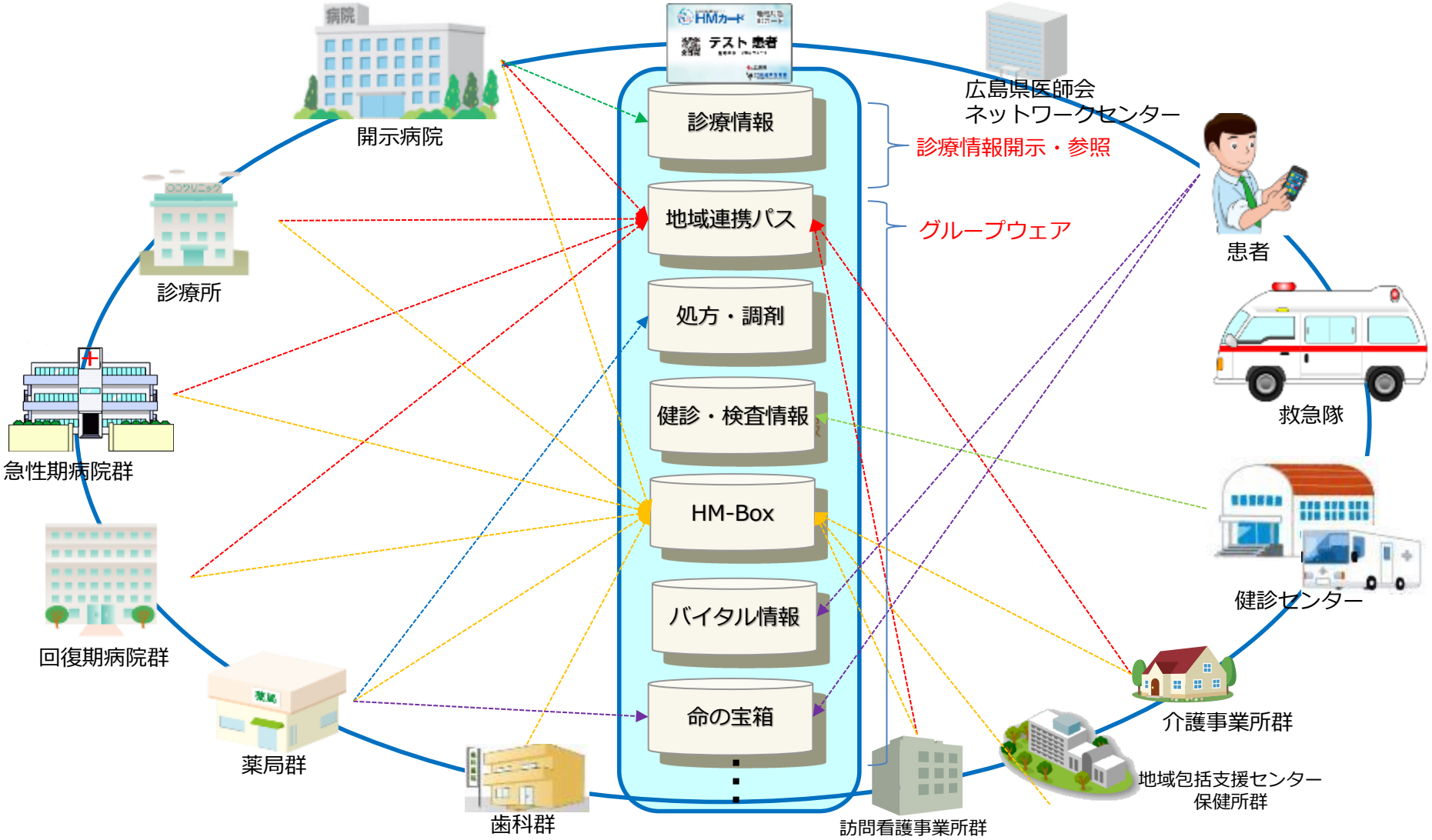




ＨＭネットのコンセプト

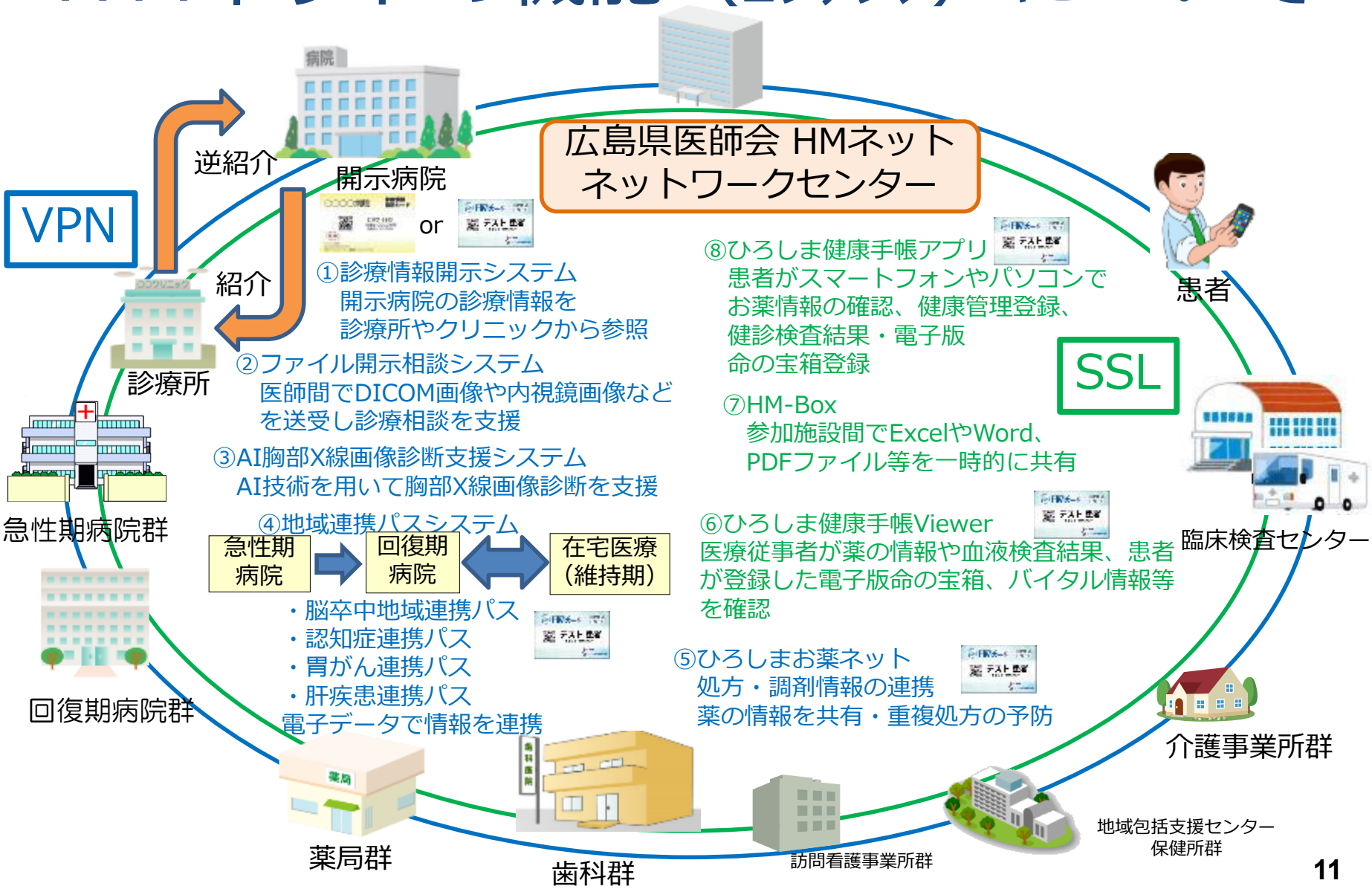
圏域や職種に制限されない医療情報の連携を目指す

県全域で使用できる共通ネットワークインフラの構築



診療情報の開示・参照もグループウェアの利用も病院枠、医師会枠、2次医療圏枠などに制限されない
すべての情報がＨＭカード１枚で参照可能
参加全施設で利用可能（利用権限をアプリケーションで制限）

ＨＭネットの機能（ｺﾝﾃﾝﾂ）について



2種類の通信方式

通信方式	説明	利用機能
VPN (IPSec-Ike)	通常利用しているインターネット回線をUSBトークンなどの電子証明書により、あたかも専用回線のように使用する技術である。 データをコンピュータへ届けるための入れ物のような役割であるIPパケットを暗号化し、内容を他者に読み取らせない状態にして安全に接続する仕組みである。各拠点のLAN同士を接続するのに最もセキュリティ性の高い接続方式として、導入されている。リモートアクセス時には端末に専用ソフトのインストールや環境設定を行う必要がある。 オンラインレセプト請求にも用いられている。	診療情報開示・参照システム ひろしまお薬ネット など
SSL(TLS)	インターネット上の通信（やり取り）を暗号化することで、盗聴やなりすましなどを防ぐ仕組みである。 ウェブサイトにSSLを導入すれば、サービスの安全性や信頼性を高めることができる。クレジットカードなどの重要なデータを送受信する際に用用いられている。	ひろしま健康手帳ビューワ HM-Box など

2種類の通信方式ともに医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに準拠している

ＨＭネット　システム構築整備のあゆみ

整備年度	内容	機能
2012年度	ネットワークインフラ構築	セキュアネットワークVPN接続ネットワーク基盤
	ポータルサイト構築	入り口となるウェブサイトの構築 機能メニューやお知らせ機能を実装
	名寄せ管理システム構築	患者IDに対して医療機関IDおよび患者IDを紐付ける機能
	診療情報開示参照システム構築	基幹病院の診療情報を他の医療機関から参照する機能
	地区パイロット事業	・広島市医師会 医師会ポータル（メール・掲示板・症例相談・e-ラーニング機能）システム、検査結果共有システムを構築・運用 ・佐伯地区医師会 検査予約システム、ファイル開示・相談システムを構築・運用 ・福山市医師会 地域共通ID発行業務の実施、健診・検査結果公開システムおよびORCAとHMネットの連携を構築・運用
2013年度	HPKI認証基盤構築	ID・パスワードでのログインに加え、HPKIカード＋PINコードでのログインを選択可能とする機能
	電子お薬機能構築	薬局における処方・調剤情報をセンターサーバに集約し共有する機能
	在宅医療介護支援システム構築	・共同在宅診療支援システム　　在宅患者の診療記録を医師間（主治医・副主治医）で共有するツール ・在宅医療／介護支援システム　在宅患者の診療・介護情報を多職種で共有するツール
	脳卒中、認知症連携パスシステム構築	・脳卒中連携パス　急性期、回復期、生活期の医療機関で脳卒中患者の情報を共有するパスシステム ・認知症連携パス　医療機関間で認知症患者の情報を共有するパスシステム
2014年度	ひろしま健康手帳構築(Web版)	患者が自分のPCやｽﾏｰﾄﾌｫﾝを使い、ﾊﾞｲﾀﾙの登録、お薬情報の確認、命の宝箱の登録などを行うﾂｰﾙ(Webﾊﾞｰｼﾞｮﾝ)
	簡易ﾎﾟｰﾀﾙ(ひろしま健康手帳ﾋﾞｭｰｱ)構築	患者が登録したバイタルや命の宝箱の情報を医療機関で参照する機能
2015年度	胃がん連携パスシステム構築	医療機関間で胃がん患者の情報を共有するパスシステム
	ひろしま健康手帳構築(iOS版)	ひろしま健康手帳をスマートフォンアプリとして構築(iPhoneバーション)
	晴れやかネット連携構築	相互接続用セグメントを設置し、ＨＭネットと晴れやかネットのポータル間接続による広域連携
2016年度	ひろしま健康手帳構築(Android版)	ひろしま健康手帳をスマートフォンアプリとして構築(Androidバーション)
	HMカード保持確認機能	HMカードの保持者を確認する機能
	ひろしまヘルスケアポイント	健診をうける、健康イベントに参加する、日々の健康管理（体重、歩数、食事）を行うことによりポイントを付与する機能。ポイントに応じた特典を受けることができる（広島県　地域包括ケア・高齢者支援課の実施事業に対してポイントを管理する機能を提供）
2017年度	肝疾患連携パスシステム構築	医療機関間で肝疾患患者の情報を共有するパスシステム
	命の宝箱簡易送信機能	患者の命の宝箱情報を薬剤師や介護職が代行して登録する機能

ＨＭネット　システム構築整備のあゆみ

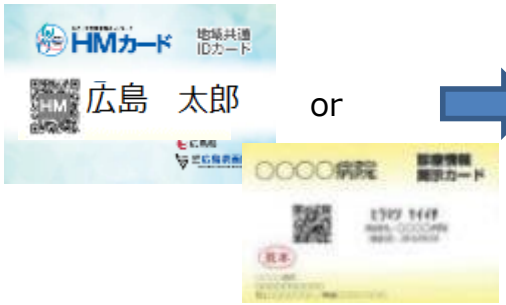
整備年度	内容	機能
2018年度	日薬e薬Linkサーバとの接続整備	日薬eお薬手帳と連携し、HMネットのお薬情報をeお薬手帳へ送信
	胃内視鏡二重読影システム構築 （ファイル開示相談システム改修）	廿日市市にて胃内視鏡検診二重読影を行う機能
	TV会議システム導入	HMネットのセキュリティ下で利用出来るTV会議
	集約型開示システム構築	開示病院の診療情報をＨＭネットセンターに集約し、診療情報を表示する機能
2019年度	統合Viewerシステム構築	県医師会へ集約した開示情報を時系列で一元管理、表示する機能
2020年度	集約型画像システム構築	開示病院の医療画像情報をＨＭネットセンターに集約し、医用画像情報を表示する機能
	２要素認証（SSL）整備	SSL機能のセキュリティ強化
2021年度	HM-Box機能構築	HMネットユーザ間でファイルの一時共有する機能
	検査データ開示システム構築	医療機関から臨床検査センターに依頼した検査データを開示する機能
2022年度	OnlyOffice構築	HM-Box上でファイルを直接編集する機能
	マイナンバーカードとの連携（フェーズ1）	マイナンバーカードで本人認証し、地域共通ID（HMカード）取得
2023年度	臨床検査センター検査結果開示システム構築	医療機関から臨床検査センターに依頼した検査の結果を開示・参照する機能
2024年度	AI胸部X線画像診断支援システム	AI技術を用いて胸部X線画像診断を支援する機能

診療情報開示・参照システムについて

診療情報開示・参照システムは地域の基幹病院が診療した情報を地域のかかりつけ医が参照するシステムである。

開示病院

開示先設定
開示情報設定
開示期間設定
同意書発行



or

広島　太郎

開示病院が患者から情報開示の同意をとる

ＨＭカード（または　診療情報開示カード）を発行（すでにHMカードをお持ちの場合は名寄せ）し、患者に渡す

診療所

患者はHMネットに参加している
かかりつけ医にカードを提示する

かかりつけ医は開示病院の広島　太郎さんの診療情報を参照する

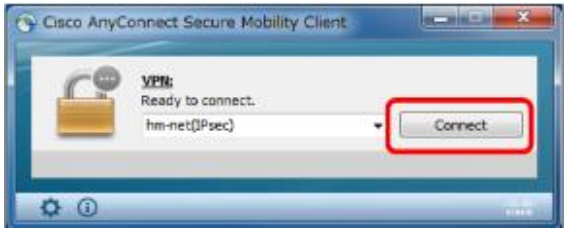
認証

ＨＭネット接続手順

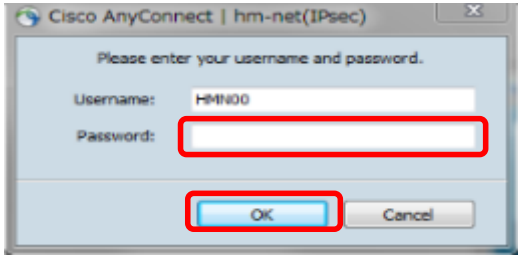
・HMネット（ＶＰＮ）接続

VPN（仮想ネットワーク）接続とは、ソフトウェアの技術を用いて仮想の専用線（特定の人のみが利用でき、盗聴や侵入ができないようにした回線）を設け、通信の安全を確保する仕組みです。

①デスクトップ上にある「HMネット接続」アイコンをダブルクリック。



②Cisco AnyConnect Secure Mobility Clientという画面が開く。
「hm-net(Ipsec)」となっているのを確認し、Connectボタンをクリック。



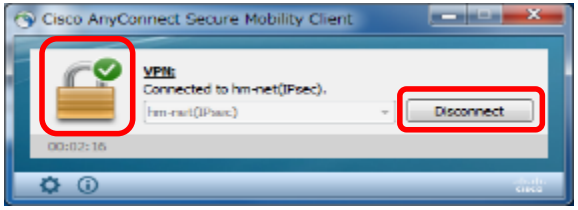
③ユーザＩＤ、8ケタのパスワードを入力後OKをクリック。

④タスクバーに地球儀マークのアイコンが、正常に接続できると南京錠付きのアイコンに変わります。
（アイコンがない場合は△を押し、隠れているアイコンを表示します）

※　HMネットに接続時は通常のインターネット回線を利用した閲覧等はできない状態となります。

タスクバーのアイコンが表示されていない等、接続出来ているのか分からない状態のときは「HMネット接続」アイコンをダブルクリックしてください。

鍵がかかっており、ConnectボタンがDisconnectになっていれば接続されている状態です。



診療情報参照（閲覧）手順　Vol1

・Webより診療情報を参照

①デスクトップ上にある「ＨＭネットログイン」アイコンをダブルクリック。

②ユーザーIDとパスワードを入力後、ログインをクリック。

③他院診療情報をクリック。

④開示医療機関の一覧が表示。診療情報を参照したい開示医療機関をクリック。

※ご注意　　下記の病院のみ個別に連絡が必要です。

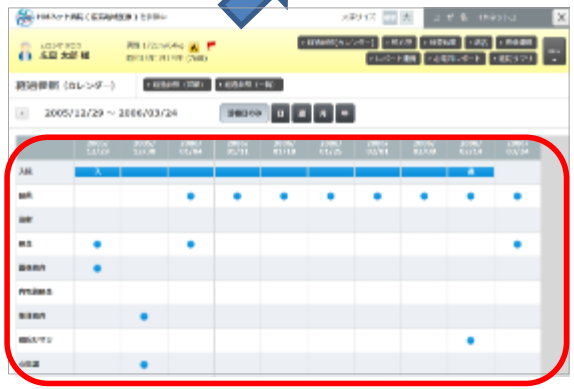
・広島赤十字・原爆病院　地域医療連携課　TEL：082-241-3111
　紹介患者様であれば参照可能。紹介患者さん以外は連絡し、患者さんごとに開示設定をして頂く必要があります。

・県立広島病院
　ＫＢネットへの参加が必要です。未参加の場合は他院診療情報の県立広島病院にある説明書をお読みのうえ、県立広島病院様にFAXにて利用申請を行って下さい。参加後は患者さんごとに同意書を記入して頂き県病院に送付し、開示設定をして頂く必要があります。

診療情報参照（閲覧）手順　Vol2

⑤ＨＭカード（もしくは
ひろしま健康手帳アプリの
「HMｶｰﾄﾞを提示する」を押下）
のＱＲコードを読み取る

アレルギー・禁忌画面



カレンダー参照機能

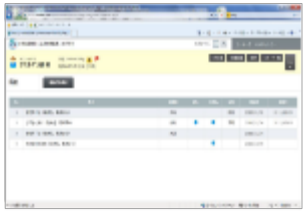
退院サマリ

医用画像

処方歴

検査結果

入退院歴



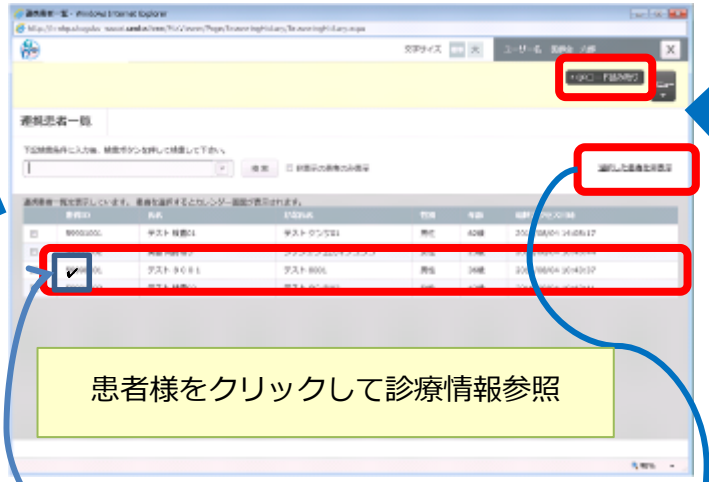
病名

診療情報のカードレス開示について

カードを読み込めば次回より患者一覧から参照が可能となる仕組み
(表示期間は最終アクセス日より１年)

・HMネットポータルサイトトップページの左側の『他院診療情報』をクリックします。
・開示病院を選択します。

初回や最終アクセス日より１年以上の期間が空いた参照のみカードを読み取る



患者様をクリックして診療情報参照

一覧から患者様を削除する場合は対象患者様にチェックをつけ『選択した患者を非表示』で一覧から削除されます。

ＨＭカードを読み取って下さい

QR読み込みで情報参照

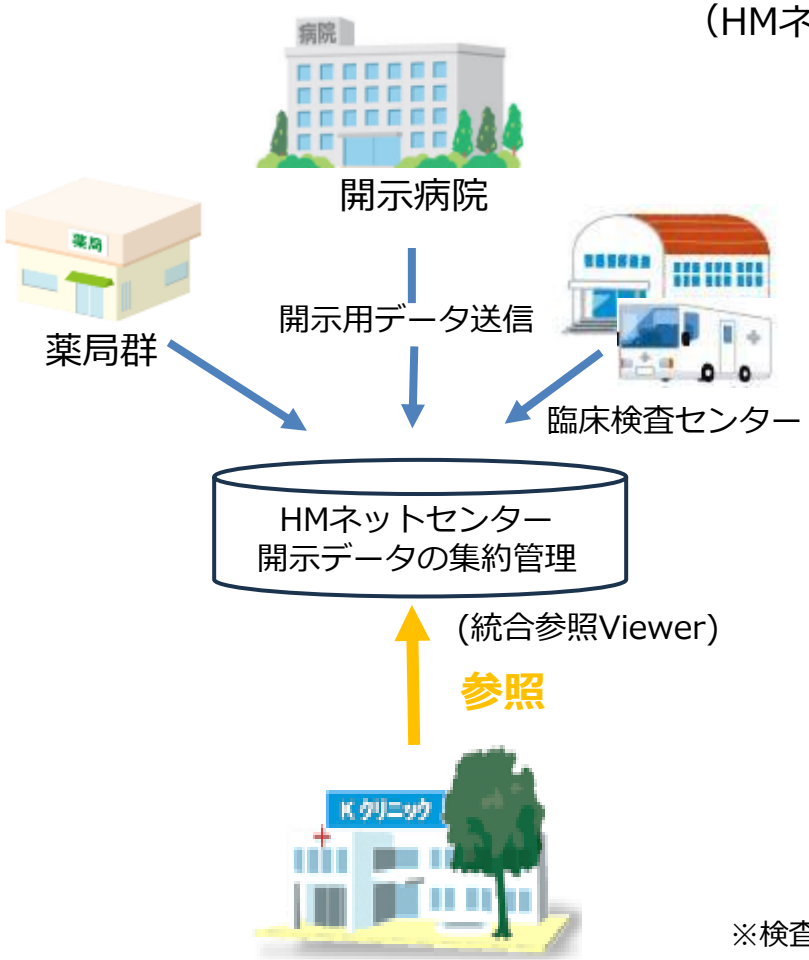
QRコード読み取りボタンで今まで通りQR読み取り。
一度読み取ったデータは次回以降患者リストに表示されます。

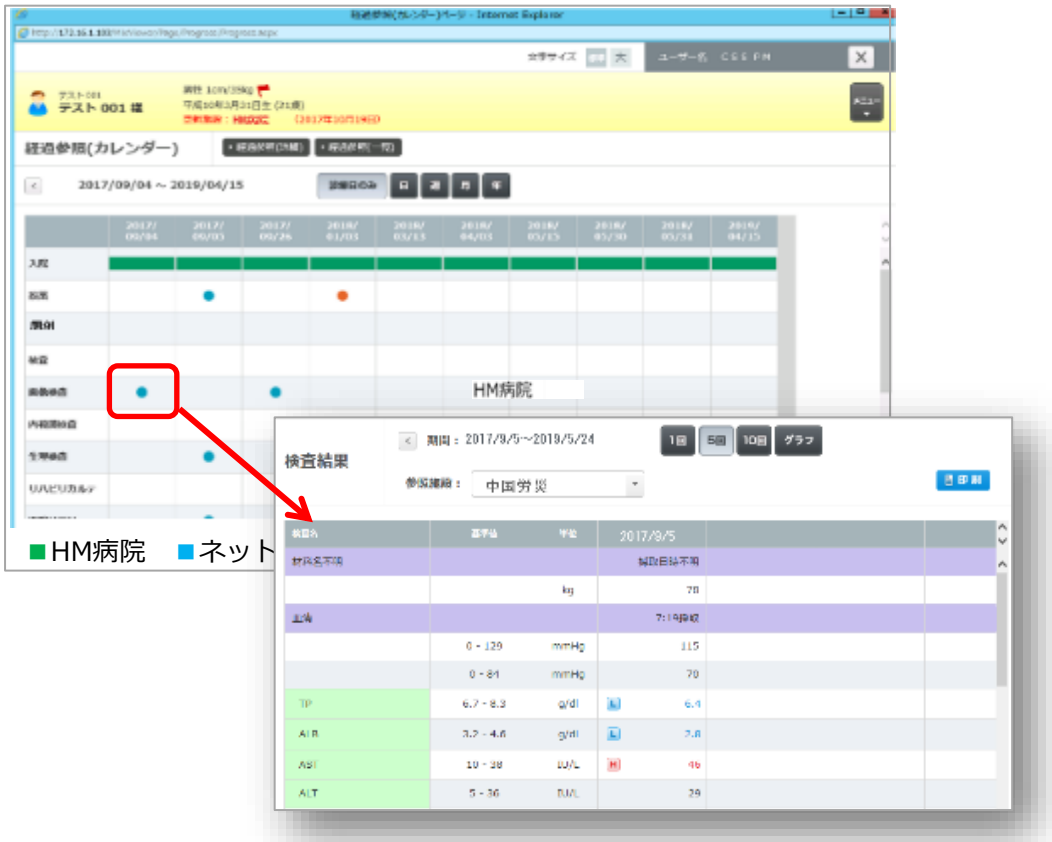
対応している病院はＨＭネットホームページ（http://www.hm-net.or.jp）
開示施設一覧の患者一覧に掲載

統合参照Viewerについて

ＨＭネット　ネットワークセンターのサーバに集約された開示病院の診療情報、薬局の調剤情報、臨床検査センターの検査結果など、複数の参加施設のデータを、時系列で１画面に表示して参照できる仕組み

（HMネットポータルサイト→他院診療情報→統合参照Viewer）



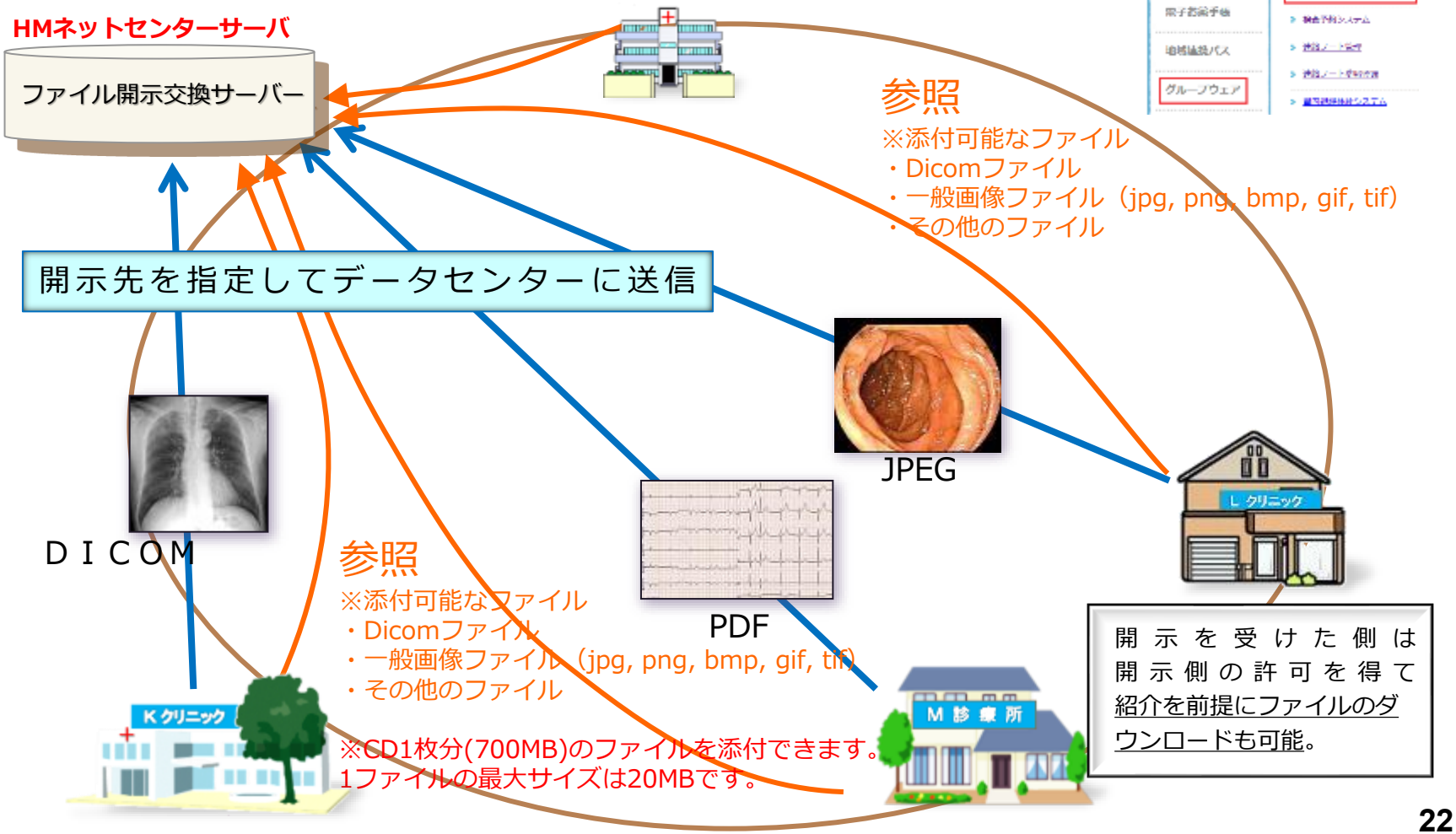


※検査結果項目のうち41項目を臨床検査項目分類コード(JCL10)に変換して表示可能

グループウェアの利用

ファイル開示相談システム

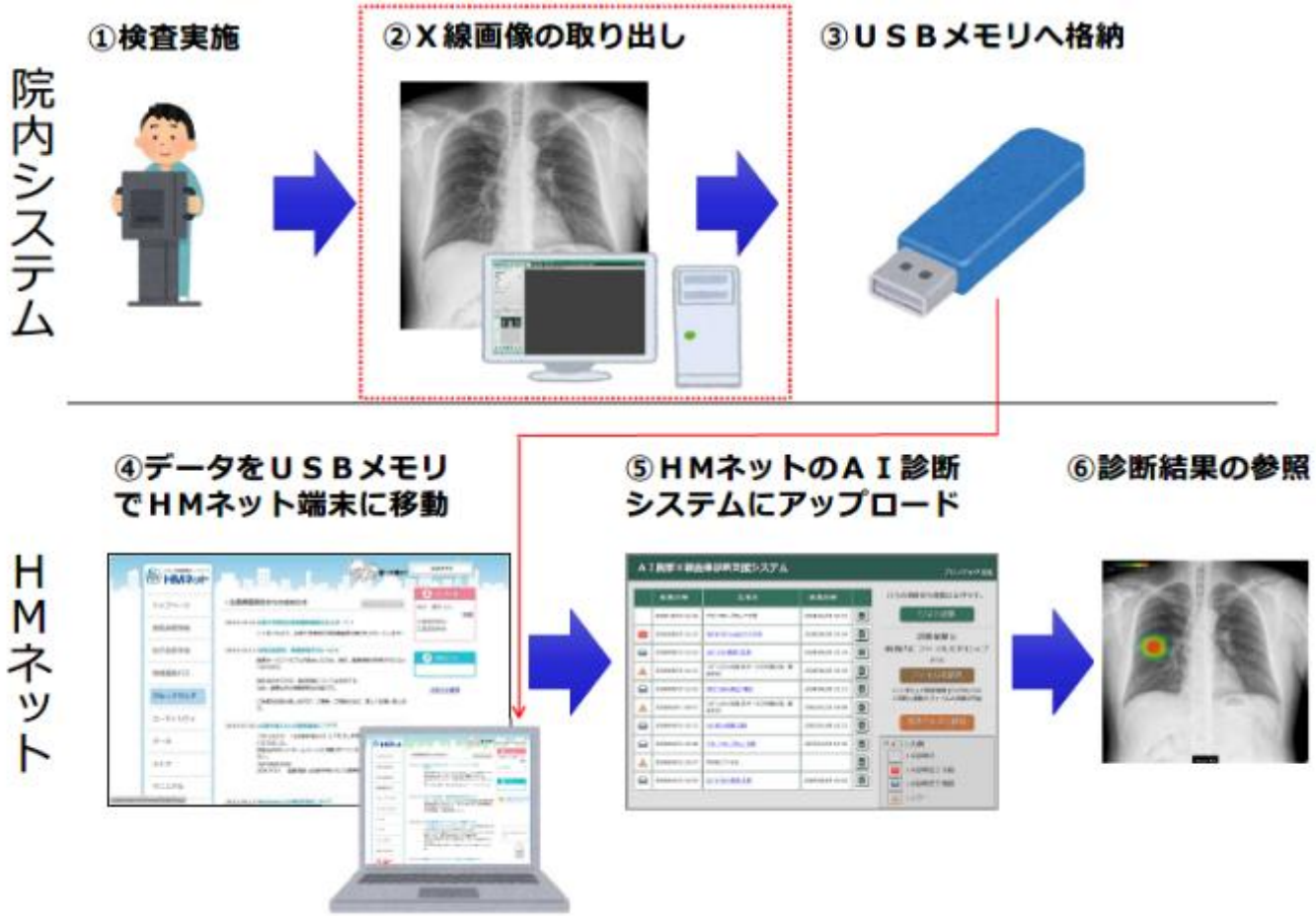
ファイル開示・相談システムは、開示用サーバやファイル送信システムを具備していない診療所や小病院が相手先を指定してファイルを開示し、相談できるシステム。自院の医用画像やグラフデータ類をオンラインで他の医療機関に開示することで、症例相談や紹介時に利用する。
（メニュー　→　グループウェア　→　ファイル開示・相談システム）



AI胸部X線画像診断支援システム

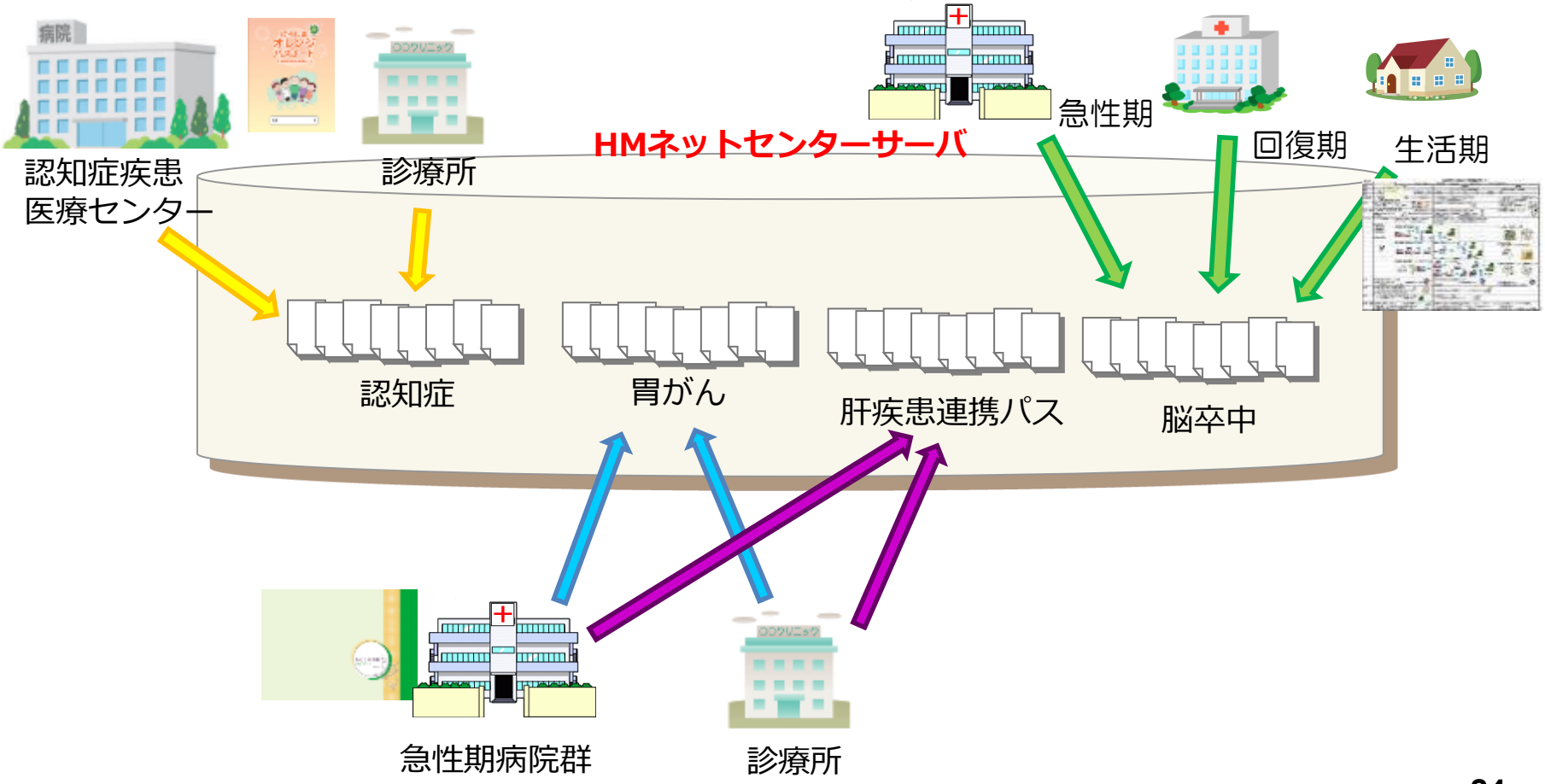
AIにより胸部単純X線画像から結節・腫瘤影、浸潤影、気胸が疑われる領域を検出し医師の画像診断を支援するシステムである。「ヒートマップ表示機能」、「スコア表示機能」で3つの対象所見を検出し、その領域を医師が再確認することで見落とし防止を支援し、医師の負担軽減に貢献する。

（メニュー　→　グループウェア　→　AI胸部X線画像診断支援システム）



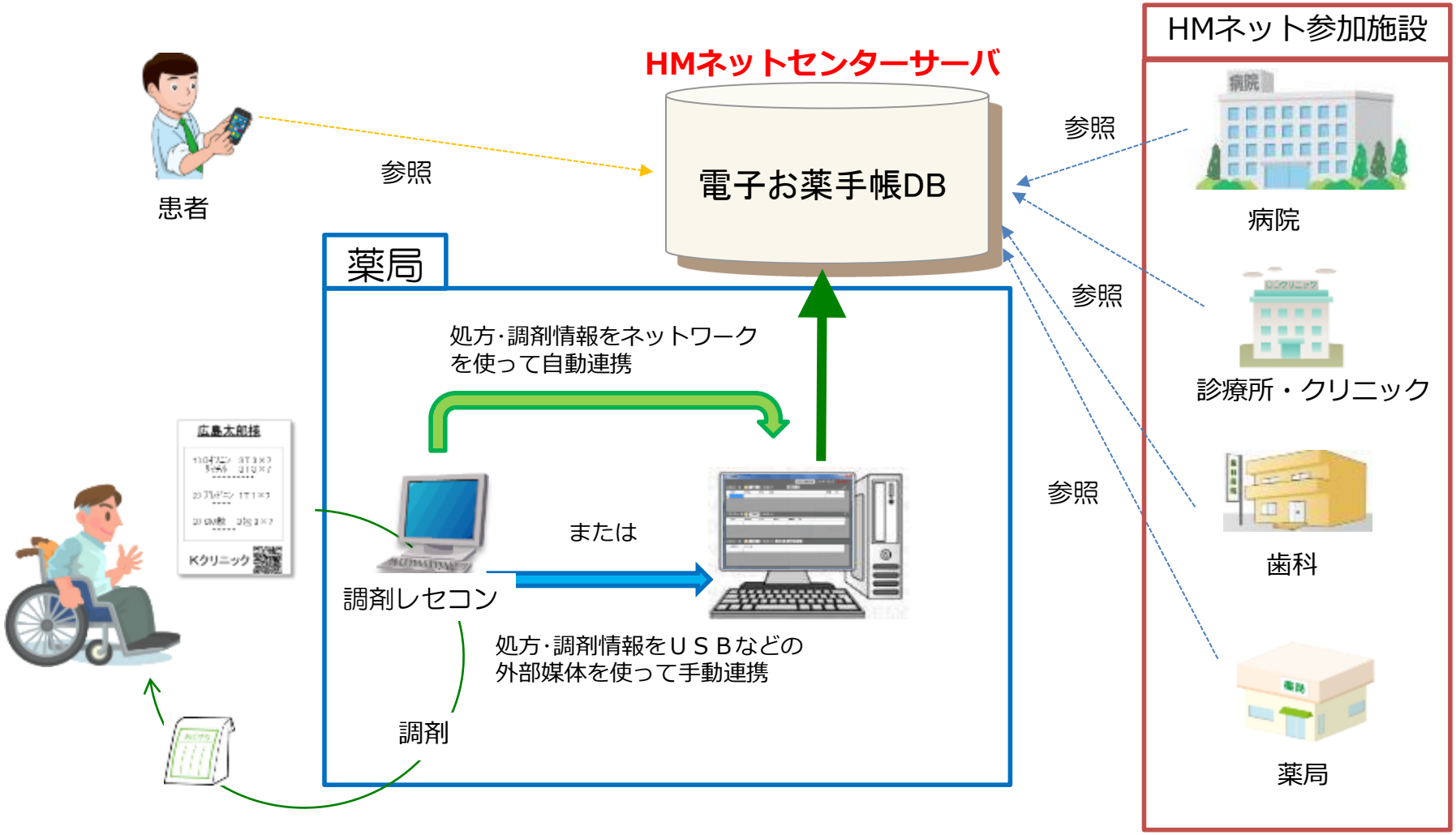
地域連携パス

紙運用している地域連携パスを電子化してセンターサーバーに情報を蓄積し、多職種で連携



オンライン電子お薬手帳

薬局にて処方・調剤情報を調剤レセコンよりデータ出力し、医療機関や薬局で共有するシステム。患者さんはご自身のパソコンやスマートフォンでお薬情報を確認することができる。



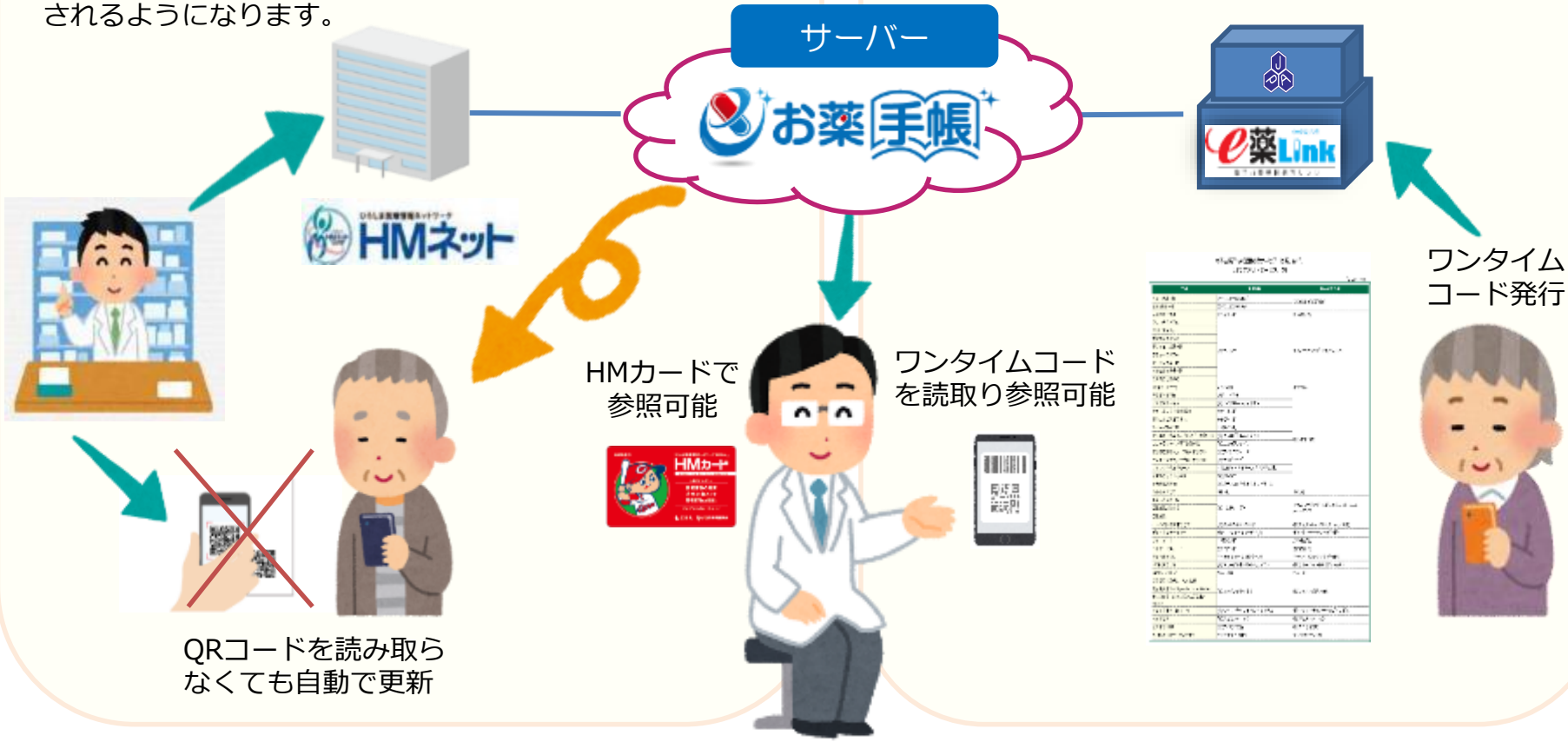
電子お薬手帳アプリを利用しよう

HMカードと連携して参照

患者さんがeお薬手帳アプリとHMカードをひろしま健康手帳で連携登録すると、HMネット参加薬局で提供されるQRコードは読み取らなくても自動でお薬情報がアプリへ送信されるようになります。

ワンタイムコードで参照

eお薬手帳以外の電子お薬手帳アプリでもe薬Linkに対応しているアプリであれば、ワンタイムコードを発行する事でお薬情報を参照する事が可能です。



ひろしまお薬ネット（閲覧）の手順

ＨＭネット参加薬局にて調剤されたお薬が閲覧できます。

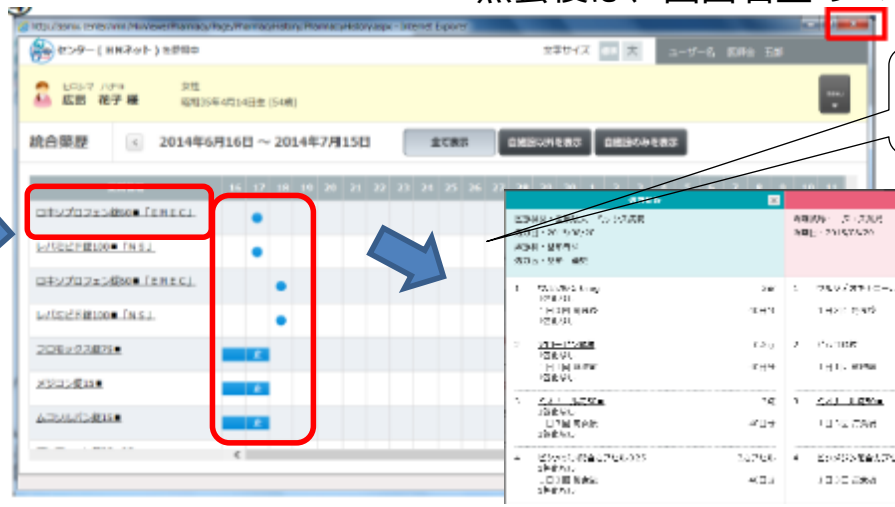
①電子お薬手帳をクリック。

ひろしま健康手帳
アプリで表示

②ＨＭカード（もしくはひろしま健康手帳アプリの「HMｶｰﾄﾞを提示する」を押下）のＱＲコードを読み取る

③当該患者のお薬手帳画面が表示。
照会後は、画面右上の×ボタンで閉じる

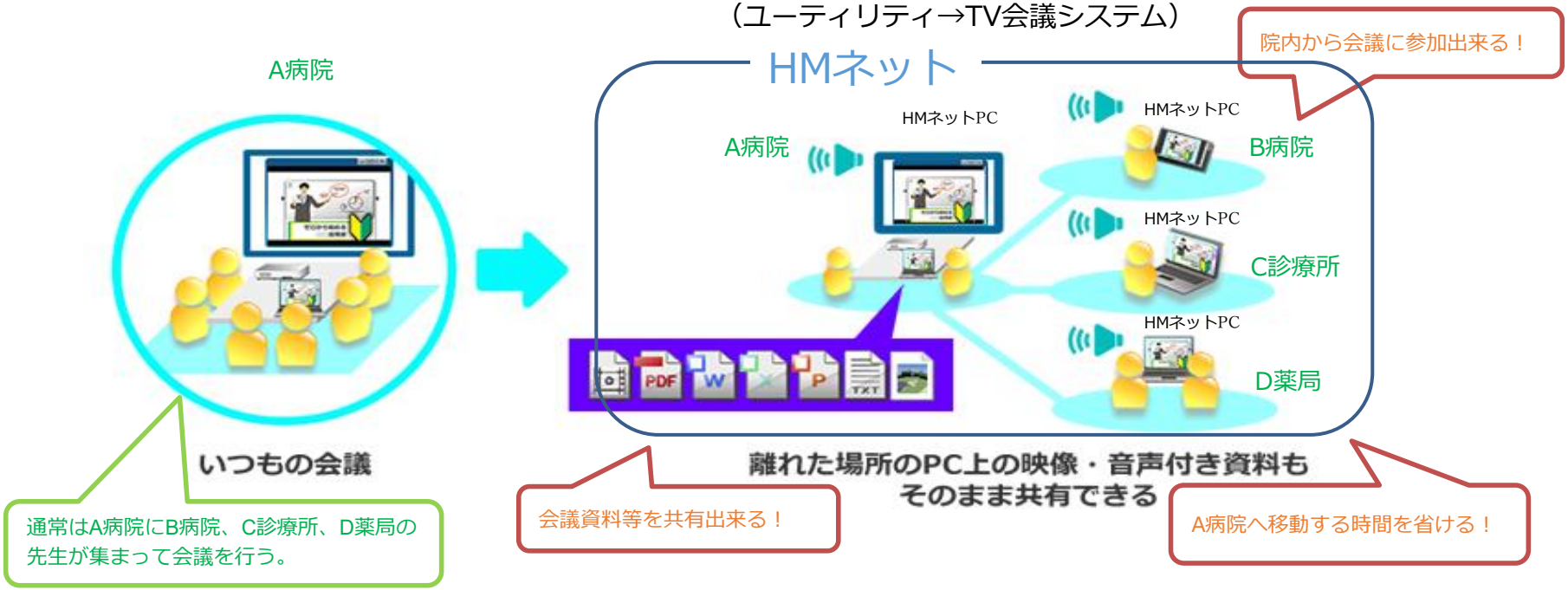
下線のついているお薬はクリックすると添付文書が開ける。
（約1ヶ月に1回更新）



青いカレンダー部分をクリックすると処方・調剤情報が開ける

TV会議システム

HMネットのセキュリティの高いネットワーク配下で多職種間の退院前カンファレンスや病院間、病院・診療所間での小会議等に利用する事で、遠方への移動時間の削減や旅費の削減に効果が期待出来る。
※マイクスピーカーやWebカメラが必要。内蔵されているPCであれば、そのまま利用可。
（ユーティリティ→TV会議システム）



【画面イメージ】

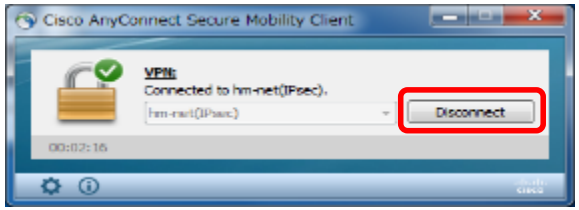
利用したい日時を指定して会議室を予約する。

各施設のHMネット端末から予約した時間に会議室へ入室する。

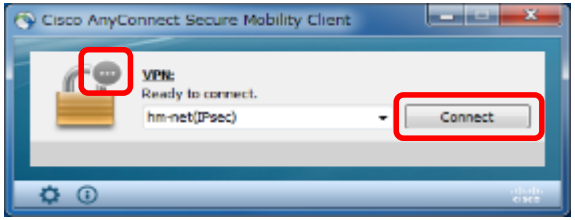
ＨＭネット切断手順

・ HMネット（ＶＰＮ）切断

①デスクトップ上にある球状のアイコンをダブルクリック。



②Disconnectボタンをクリックします。



③ボタンがConnectに、左側の南京錠アイコンが(…)に変われば切断完了です。

※　切断をすると通常のインターネット回線を利用した閲覧が可能な状態に戻ります。

ひろしま健康手帳

ひろしま健康手帳は、県民がスマートフォンやパソコンで電子版命の宝箱登録、お薬情報の確認、健康管理登録、健診（定期、特定など）結果登録などを行うコンテンツである。

患者が登録した情報は、HMネット簡易ポータルサイトから閲覧することが可能。

【お薬情報の確認】

薬局から集めた処方･調剤情報を県民が確認できる機能です。飲み薬や薬の量などを確認できます。

【電子版命の宝箱】

県民が緊急時の医療に必要な様々な情報を登録しておく機能です。命の宝箱（Ａ４紙）に記入したものを写真に撮って登録します。各項目を手入力することも可能です。

※用紙はHMネットホームページからダウンロードできます。

【健康管理登録】

県民がバイタル情報（体重、体温、血圧、血糖）を登録する機能です。日々の健康管理に役立てます。

【健診（定期、特定など）結果登録】

県民が健診（定期、特定など）の健診結果（紙）を写真に撮って登録する機能です。

簡易ポータルサイトについて

インターネットに接続できるパソコンで患者の健康情報（バイタル情報）や調剤情報、健康診断の結果の確認、HM-Box（ファイル一時共有機能）を利用できるページ。 SSL電子証明書を利用することにより安全に患者の健康状態の確認や資料のやり取り等が可能。　※ＶＰＮ接続を行う必要はありません。

HMネットホームページ http://www.hm-net.or.jp/
→「簡易ポータルはこちら」ボタン

●ＨＭカード登録確認
患者さんがＨＭカードを持っているか確認できる機能

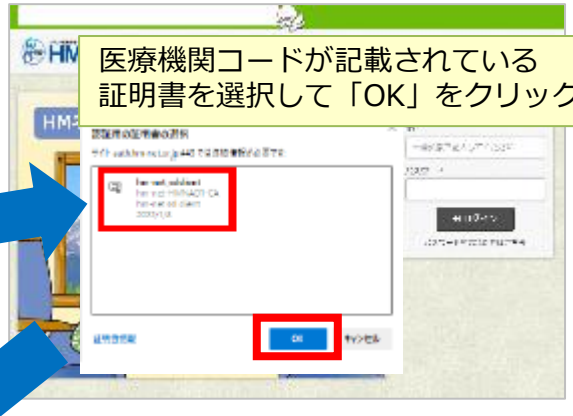
●HM-Box
ファイル一時共有機能

●ひろしま健康手帳ビューワ
医療従事者は患者さんがスマートフォンやパソコンで登録したバイタル情報や命の宝箱情報、薬局で受けた調剤情報を閲覧できる

簡易ポータルサイトについて

●簡易ポータルサイト　ログイン手順

HMネットホームページ　http://www.hm-net.or.jp/
→「簡易ポータルはこちら」ボタンをクリック



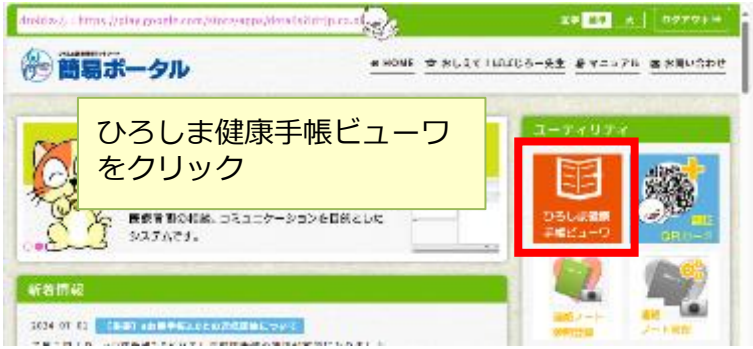
医療機関コードが記載されている
証明書を選択して「OK」をクリック

ＨＭネットログイン時のＩＤ（@を含む）
とパスワードでログイン

簡易ポータルが表示される

ひろしま健康手帳ビューワについて

● ひろしま健康手帳ビューワ閲覧手順



カード読み込み・利用者管理をクリック

閲覧先を新規連携をクリック

ＨＭカードを読み込むまたは、
ＨＭコードを手入力して「検索」を押す

ひろしま健康手帳ビューワについて

「この方と連携する」をクリック

「カルテ番号を入力」に患者のカルテ番号を入力し、
「登録する」をクリック

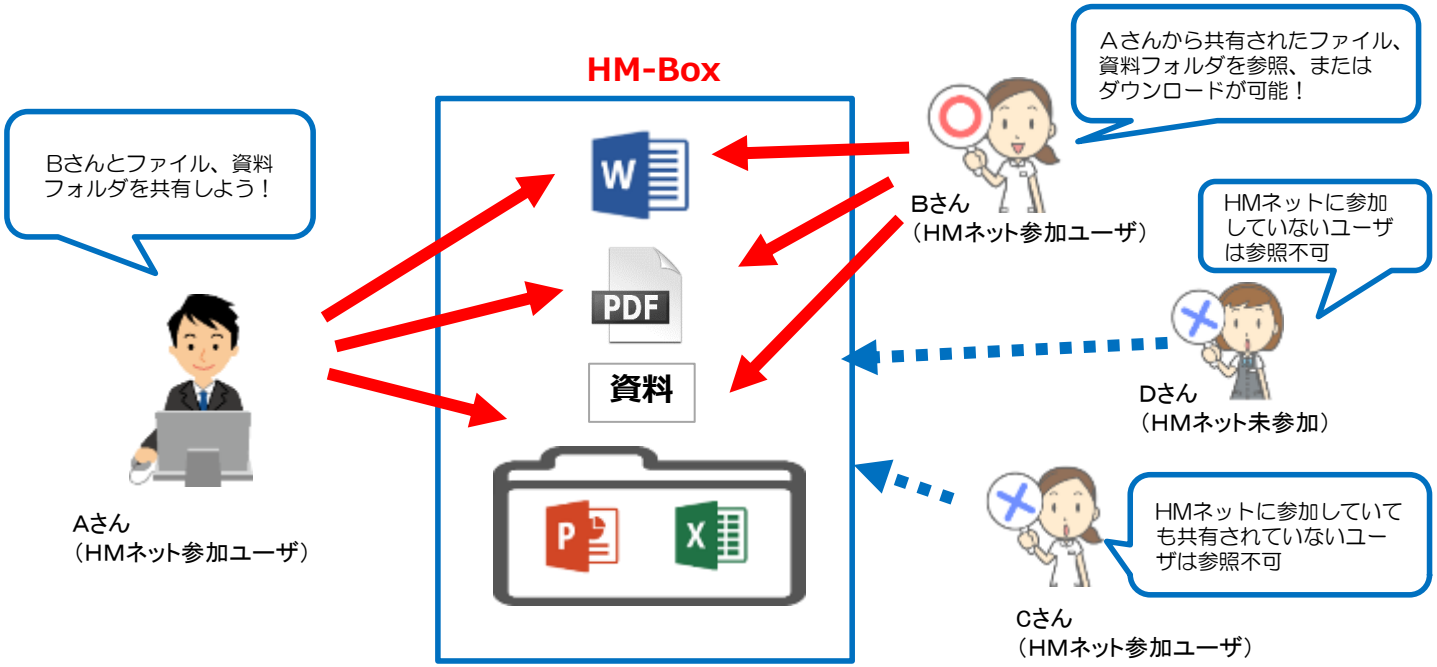
一覧から参照したい患者さんのメニューをクリック

HM-Box（ファイル一時共有機能）

HM-Boxとは、インターネット配下で電子証明書をインストールした端末を利用して、HMネットに参加しているユーザ間で一時的にファイルを共有出来る機能です。ユーザ間でも相手を限定して共有が出来ます。PDF、Word、Excelなど、1アカウントにつき５GBまで保管可能で、保管ファイルはファイルをアップロードした日から起算して7日経過すると自動的に削除されます。

例えば、市町と介護事業所での介護認定書類や、医師と薬剤師間でのトレーシングレポートの送受に活用することで、発行手数料や郵送料の削減、手渡しによる感染症の感染拡大防止、リアルタイムなやり取りが行えるなどの効果が期待されます。

（簡易ポータルサイト→HM-Boxボタン）



健診・検査共有システム

健診･検査の情報を共有するシステム

健康支援センター

開示先設定
開示情報設定
開示期間設定
同意書発行

広島　太郎

ＨＭカードを発行し、患者に渡す

診療所

患者はかかりつけ医にカードを提示する

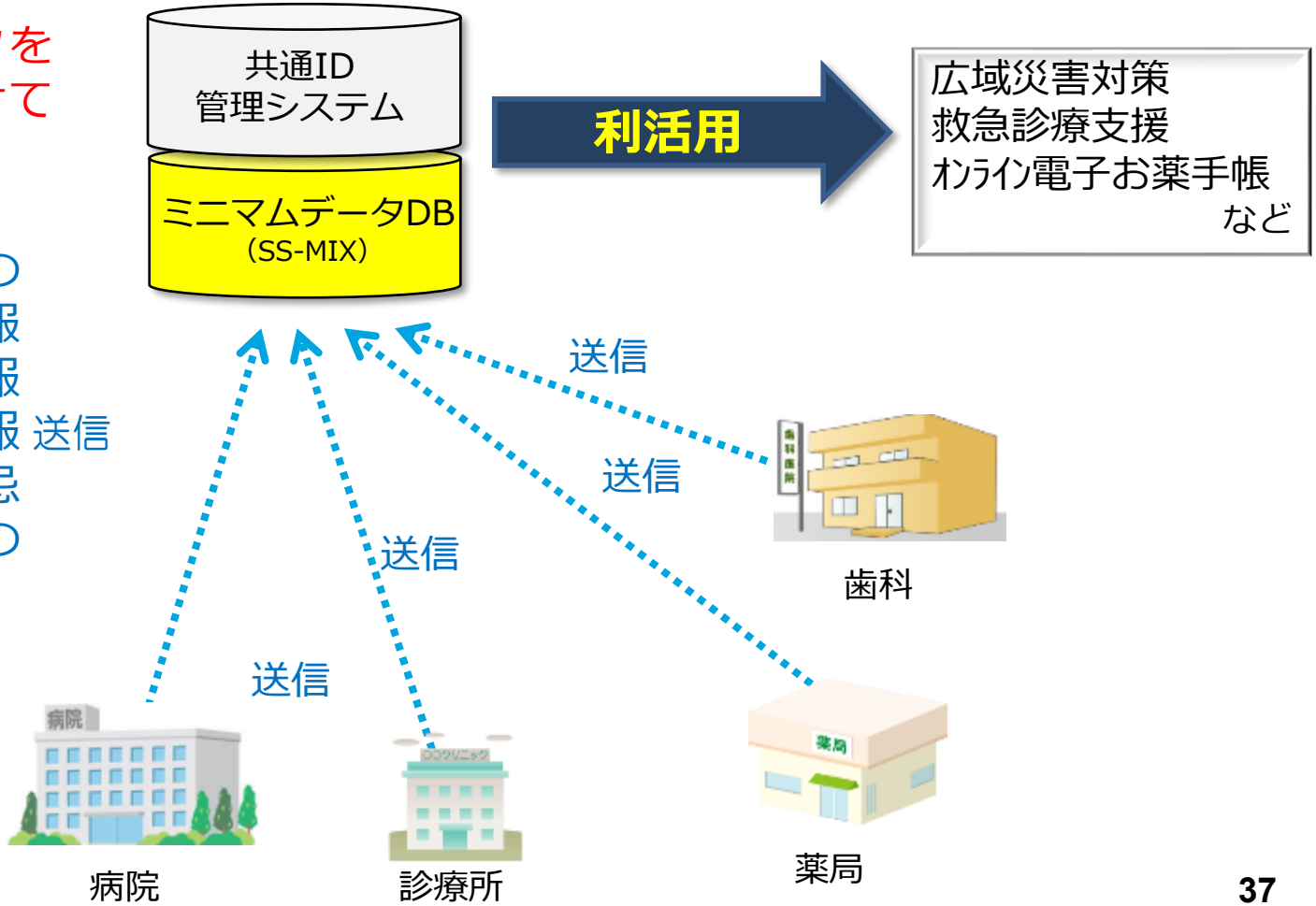
認証

ミニマムデータ統合システム

重要最小限のデータ（ミニマムデータ）を共通IDにより集約管理し利活用

ミニマムデータを
共通IDで紐づけて
集約管理

共通ID保有者の
患者基本情報
病医院受診情報
アレルギー情報
薬剤禁忌
服薬情報等の
ミニマムデータ
を送信



参加費用・利用料について

参照施設（月額利用料） ※税込

はじめてHMネットに参加される施設は
月額利用料が6か月間無料になります。

参照	月額利用
医科	¥3,500
歯科	¥3,500
薬局	¥1,500

参照施設（概算初期導入費）

	数量	初期費用	備考	
VPN証明書	1個	補　助		*1
バーコードリーダー （診療情報開示カード及び　HMカードの読取り用）	1台	補　助	修理・追加分は自費 （¥9,072/台）	
シールプリンター（医科は希望する場合のみ）	1台	補　助	修理・追加分は自費 （¥10,098/台）	
シールプリンター用テープ・HMカード台紙	1式	補　助		
インターネット回線	一式	実　費		
自施設の任意で設置するセキュリティ装置	一式	実　費		
端末PCのセキュリティソフト	一式	実　費		

＊1：施設内のＰＣからＨＭネットに接続する場合に適する診療所や有床診療所、小規模病院、歯科医院、薬局向けの接続方法です。VPN証明書、ユーザーアカウントは１施設につき医師の人数＋２つまでとします。
＊その他　認定書やポスター、チラシを配布

導入までの流れ

・申請書ダウンロードページ

https://www.hm-net.or.jp　⇒　HMネットへの参加を考えられている医療機関

⇒　参加申請書ダウンロードボタン

・ご用意いただくもの

インターネットに繋がるパソコン（Windows10以上推奨）

※ＨＭネットに接続している時は通常のインターネットは繋がらない為、支障のないパソコンをご用意ください。

お問い合わせ

HMネットサポートセンター

TEL:0829-30- 0745　平日9 : 00～17 : 45

FAX:082-568-5675　Mail: info@hm-net.or.jp

一般社団法人 広島県医師会　HMネット推進課
〒732-0057 広島市東区二葉の里三丁目2番3号　TEL:082-568-2117